

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第20号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成22年1月27日 09時10分ごろ	
発生場所	兵庫県家島諸島西島北岸付近	
事故等調査の経過	平成22年2月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 油タンカー 第二十三菱^{りょうほう}芳丸、39トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 130790、株式会社菱芳礦産</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首船底に径約2～3mmのせん孔	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、重油約20キロリットルを積載し、船首約0.4m、船尾約2.0mの喫水で西島北岸の室ノ内の前浜（主に砂地）に到着し、平成22年1月27日09時10分ごろ、船首部を着底させて陸上タンクにホースで揚荷作業を行い、翌28日船首部のタンクに浸水を発見した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風速 約2.2m/s、視界 良好 海象：うねり なし、波高 なし、潮汐 高潮	
その他の事項	本船は、月間2回ほど、西島北岸の陸上タンクへ揚荷する目的で室ノ内の前浜に入航していた。 室ノ内の前浜には、着岸設備がなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、西島北岸の陸上タンクへ揚荷する際には、船首部を前浜の砂地に着底させて行っていたものと考えられる。 本船は、着岸した前浜の砂地の突起物に接触し、船首部のタンクに破孔が生じた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が西島北岸において、陸上タンクへ揚荷する目的で、前浜の砂地に着底した際、砂地の突起物に接触したため、船首部のタンクに破孔を生じたことにより発生した可能性があると考えられる。	